

拝啓 陽春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃から我が日本ハムファイターズにご声援を賜り、厚くお礼申し上げます。

二〇一〇年度のペナントレースも開幕し、今年も皆様のご声援に応えられるようチーム一丸となって頑張っております。

さて、私こと稲葉篤紀は、チームそして私を応援してくれる小なお子さんたちが不慮の事故で命を落としていること、そして病院に運ばれる前の救急活動がその後大きな影響を与えていることを知り、昨シーズンより「INABA JUMP PROJECT ～SEVEN CHILDRENS LIFE」の活動を行っております。この活動は、私がシーズン中に打ったヒット数に応じた金額を、プロジェクトの基金として積み立て、小児救急医療資機材を購入、道内で救急医療に活躍するドクターヘリとすべての消防本部に寄贈するものです。

北海道では、交通事故や冬のスポーツなどでケガをされるお子さんが多いと聞き、普段球場で大きな声援をいただいていることへの恩返しになればと思います。そして、みなさまに寄贈する資機材が実際の現場でご利用いただくことで、子供たちの小さな命が救えられればと考えます。

今年も一本でも多くのヒットを打ち子供たちに夢を与えられるよう頑張りますので引き続きご声援をお願い申し上げますとともに、みなさまの日頃の救急活動に敬意を表し寄贈のあいさつとさせていただきます。

敬具

二〇一〇年四月

北海道日本ハムファイターズ

主将 稲葉 篤

